

三菱電機の最先端 GE-PONシステム

CATV事業者様向けのFTTH「GE-PON」システム構築をリードしてきた三菱電機FTTHチームに
CATV事業者様向けのFTTHシステム構築実績や技術力、そして今後の展望などを聞いた。

(構成:天野昭/写真:広瀬まり)



三菱電機の「FTTHチーム」。(前列左から)山口修、守屋充勇、矢野和志、(後列左から)森田圭太郎、石野義行、森直人の皆さん

FTTH Tech Interview CATV For 1Gbps FTTH

FTTH:Fiber To The Home

GE-PON:Gigabit Ethernet-Passive Optical Network (ギガFTTHシステム)

OLT:Optical Line Terminal (光加入者線収容装置)

ONU:Optical Network Unit (光加入者線終端装置)

OpS:Operation System (オペレーションシステム)

守屋充勇

Moriya Mitsuo
通信事業部 通信第一部第二課長

矢野和志

Yano Kazushi
通信システムエンジニアリングセンター
ネットワークシステムソリューション部
第三グループグループマネージャー

森田圭太郎

Morita Keitaro
通信事業部
通信第一部第二課担当課長

山口修

Yamaguchi Osamu
通信事業部 通信第一部第二課主任

GE-PON国際標準化に 先導的な役割

——三菱電機のスローガンは「Changes for the Better」です。2010年10月31日に終了した上海万博のスローガンは「Better City Better Life」でした。国や制度が違っていても、よりよい社会、よりよい生活を求めるのは世界共通のテーマです。今日のインタビューのテーマは、CATV事業者様向けFTTHシステム導入の推奨です。これまでのFTTHに関する技術面、導入面における実績から

伺います。

矢野 GE-PONの技術開発という点では、国際標準IEEE802.3ahの確立のために、10年以上前から積極的に関与し、今日のFTTH、GE-PONの普及に貢献して来たと自負しています。

守屋 GE-PONの商用化についてですが、2004年から通信事業者様にご採用いただきました。以降6年間に亘る実績により、ONU60万台を超える累積生産を達成しています。CATV事業者様には2006年後半から本格的に提案を開始し、現在では約40社の事業者様でご採